

 あけましておめでとうございます 2026

新しい年の幕開けです。皆さまは、どんなお正月を過ごされたでしょうか。
元旦は 暖かな陽射しの中、澄み切った青空に美しく富士山が映えていました。
二日には 打って変わっての初雪でビックリでしたが、今年一年の歩みを想い、
どんな時も、子ども達一人ひとりのいとおしい笑顔を 私達の生きる力にして、
皆で祈り合い支え合い、日々 尽くしていかななくてはと想いを新たにしました。

昨日5日には 保育準備と研修のために 全職員での職員会議を行いました。
3月までの毎日は 矢のように過ぎていく3か月間です。特に 卒園を控える
年長組の子ども達にとっては 園生活の集大成となる かけがえのない時です。
もちろん 各年齢4クラスそれぞれの子ども達の成長する姿にも この時期は
目に見張るものがあり、一回りも 二回りも 逞しく頼もしくなっています。
その中で 私達保育者は、人として 大人として 社会人として 何ができるか。
卒園までの6年間の保育園生活を通して、子どもの中に在る可能性を信じて
その芽を全部 引き出してあげる。葉が伸びて 花を咲かせ、いつの日か
立派な実を結ばせる ひとりひとりの姿を祈りながら想い描き、その可能性に
満ちた たくさんの小さな芽を大切に、そして豊かに大らかに自由に育むこと。
私達の使命はそこにあります。何かが出来る・出来ない で評価することなく
子どもの心の声に耳を傾けながら 子どもを常に“人として” 尊重することを
改めて皆で認識しました。子ども達との信頼関係をしっかりと構築して
目に見えない想いを大切に、神様を仰ぎつつ、どんな時でも 子どものそばで
共に感じ、共に語り、共に考え、共に歩む“人” で在るよう 努めて参ります
2026年も 職員一同、尽力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。
皆さま おひとりおひとりの上に、神様の平安と祝福が いつも ありますよう
そして、世界中の人の心に 主イエス・キリストの愛と平和が注がれますよう
人と人との醜い争いが どうかなくなりますよう、心から祈ります。(石田 記)

『愛する者たち、私たちは 互いに愛し合ひましょう。(Ⅰヨハネ4:7)』